



安曇野市

第24号

農業委員会だより

写真の記事

10月明科天王原でのワイン用ブドウ（シャルドネ・メルロー）の収穫作業。



● 主な内容 ●

上長尾共働夢倶楽部紹介……………	2
鳥獣被害・岩原猿害被害者同盟……………	3
がんばる農業者……………	4～5
改正農業委員会法関連……………	6～7
おふくろの味 旬の一句・一首……………	8

農政の動き

会長 板花 守夫

晩秋の季節となり、依然として不安定な天候が続いております。さて、平成30年度より、米の生産調整の見直しに合わせ、需要に応じた生産を行っていくことになっております。

それに伴い県農業再生協議会では、主食用米の需要に見合った生産数量目安値の算定ルールにより、12月に各市町村地域協議会に提示することとしております。

安曇野市においても、米の生産調整が引き続き重要であり、農業者へ目安値の提示をするとともに行政とJA等と連携して需要に即した米作りを目指し、戦略作物等の生産振興を積極的に取り組む必要があります。

尚、平成28年4月1日より施行された農業委員会法改正に伴い、農業委員の選出方法が公職選挙法から市長が議会の同意を得て任命する方法に変更されました。又、新たに農地利用最適化推進委員が農地利用の最適化に向けての活動を目的に新設され農業委員会より委嘱されます。

当委員会では、現農業委員の任期が平成30年7月19日までとなっていることから本年4月より組織検討委員会を設置し、新体制移行に向け、条例、定数、団体推薦、公募方法等の協議を重ねております。

増加する農作物の鳥獣被害



麦の新芽を食べるサル



猿に踏み荒らされた小麦



岩原猿害被害者同盟

今、全国 各地で野生動物による農業と森林被害が発生しています。地球温暖化による積雪の減少、狩猟者の減少、高い出生率などによって、野生動物が急速に増加しています。

安曇野 市堀金の西山山麓でも、平成の初め頃からサル、クマ、シカ、イノシシなどの野生動物が出没して農作物などを荒らしています。

平成 の中頃からは、特にサルが20匹から30匹程の群れで頻繁に出没するようになり、岩原地区では、猟友会の協力を得たり、モンキードックを導入して追い払いを行ってきましたが、期待されたほどの効果が得られませんでした。

そのため、平成27年に行政の協力を得て、岩原区民総出で電気柵を設置して、輪番体制で管理してきました。

その 結果、クマ、シカ、イノシシなどには効果があつたのですが、サル

鳥獣駆逐装置

(左：ガドリオン／鳥害対策、右：バリアトーン／獣害対策) 超音波を発生し、農地へ鳥獣を近づけないようにする装置です。



天王原に設置したガドリオン



岩原地区のバリアトーン

岩原猿害被害者同盟

代表 山口 裕

岩原 区民の力だけでは行政や地域全体での被害防止対策が必要です。

は学習能力が優れているために、慣れてしまうと電気柵を乗り越えてきます。また、道路や河川など電気柵が設置していない場所からの侵入が後を絶たない状況です。

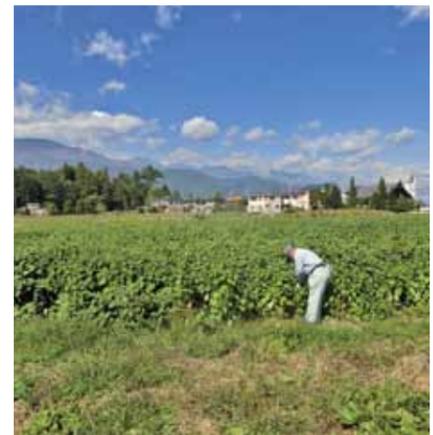
上長尾共働夢倶楽部

三郷上長尾地区の農業経営は水田とリンゴを中心とした経営が営まれています。この地区は、水稲経営規模は比較的小さく、開田地帯では荒廃農地が目立ち始め高齢化、後継者不足、農機具の更新ができない等農業経営に支障が出てきています。また、昭和45年から始まった国による生産調整が廃止され平成30年産からは主食米の生産が生産者の自主的な取り組みに移行され米価の下落が予想されており。



小麦の収穫

今後は、個々の水稲経営から集落での経営に移行し経営の効率化により地域の農業の受け皿となるような組織を目指し、平成28年3月20日に三郷上長尾区民50名、経営規模40haで非農家の方も参加した集落営農組織を立ち上げました。



エゴマの様子を見る養組合長

自分でできることは自分で、自分でできないことは組合で行う。地域の農地は地域で守っていくことが大切だと考えます。

上長尾共働夢倶楽部のスローガンは「生涯現役・共働作業により夢の持てる経営を目指します。」「個々の経営から夢倶楽部への経営を目指します。」であります。

今後は営農組織として経営の継続ができるように法人化に移行し農地の集積、受託作業等経営規模の拡大に向け取組を行っていきます。

今年、汎用コンバインとエゴマの定植機を導入し、6次産業化に向け、エゴマの栽培を始めました。

エゴマの育苗、定植、除草作業などを組合員が行い、9月下旬には開花し実をつけております。



収穫時期を迎えたエゴマ

10月下旬には収穫を行い12月には搾油した商品と、エゴマの実を機会がありましたら是非ご賞味いただきたいと思っております。

上長尾共働夢倶楽部

組合長 養 信



エゴマの移植作業

設立して2年半の新しい集落営農組織です。今後地域農業を盛り上げ、大きな活躍を見せてくれそうです。

がんばる農業者



竹下 徹さん
(穂高地区)

経営面積等

きゅうり…………… 5a



きゅうりに液肥を施す

Q 竹下さんが農業をはじめたきっかけは何ですか？

A もともと学生のころから農業に興味がありました。いきなり農業始めるのはどうかと思い、初めは市場に5年間勤めましたが、小さな地域の青果物がどんどん無くなっていく現実を実感していました。こんなとき親が体調を崩したこともあり、2年間農業研修を積み、今年の4月から安曇野市に農地を借りて農業を始めました。

Q 農業経営を行う中で大変なものはありますか？

A 初期投資が大きいということと、相手のため、すぐに経験を積むことができない



竹下さんの名刺



きゅうりを手に持つ竹下さん

Q 現在取り組んでいることを教えてください。

A きゅうりを専門で取り組んでいます。まずは生産技術を高め、将来

ことです。年に1回から2回の収穫の機会ではなかなか経験を積むことが難しいです。

Q 今後の目標を教えてください。

A 春から秋までは、がんばって働き、冬は全力で遊べる様に、ちゃんと稼げる農家になりたいです。最終目標は、栽培面積を1haに拡大して人を雇って経営していきたいです。

Q 最後に地域の皆さんへメッセージをお願いします。

A まだ引越して来たばかりで、地域のことは良く分かっていないので皆さん教えてください。よろしくお願いします。



きゅうりハウスの全景

がんばる農業者



上條 靖弘さん
(豊科地区)

経営面積等

セルリー…………… 42a



セルリーの芽かき作業

Q 上條さんが農業をはじめたきっかけは何ですか？

A 自宅の近くに所有農地がたくさんあったからです。小さいときは祖父が米作りをしていた姿を見て育ちました。就農する前は父が近くの農家からセルリー作りを進められたこともあり、農業をやるなら選択肢の中にセルリー栽培が入っていました。最初の1年はジューズ用トマトを栽培してみました。平成25年の4月から自宅近くの所有農地でセルリー栽培を始めました。

Q 農業経営を行う中で大変なものはありますか？

A ハウス等の初期投資や肥料や消毒が多いため、お金のやり繰りが大変です。また、定期的な消毒、温度管理が必須なため、小まめな観察が必要で気を使います。

Q 今後の目標を教えてください。

A 現在はセルリーを栽培していますが、セルリーハウスを増やして、セルリーを専業で経営していきたいです。



順調に育っているセルリー

Q 現在取り組んでいることを教えてください。

A 消毒・水管理が日課になっていまして。他にセルリーに関係あること

といえば「セルリー研究班」の活動をしています。松本市・安曇野市・塩尻市・山形村などのセルリー農家の若手

とつながり、情報交換や技術交流を行っています。

Q 最後に地域の皆さんへメッセージをお願いします。

A セルリーは単収が比較的高く、安定した高収入が得られ、規模拡大もできる作物だと思います。もっとセルリーに関心を持っていただき栽培農家が増えてほしいと思います。

Q 今後の目標を教えてください。

A 当面、収穫量を上げるため欠株を少なくする技術を磨き、安定した高収入を得ることを目標にしています。ゆくゆくは、ハウスの栽培面積を1haに拡大していきたいと思っています。

Q 最後に地域の皆さんへメッセージをお願いします。

A 当面、収穫量を上げるため欠株を少なくする技術を磨き、安定した高収入を得ることを目標にしています。ゆくゆくは、ハウスの栽培面積を1haに拡大していきたいと思っています。

Q 今後の目標を教えてください。

A 当面、収穫量を上げるため欠株を少なくする技術を磨き、安定した高収入を得ることを目標にしています。ゆくゆくは、ハウスの栽培面積を1haに拡大していきたいと思っています。

Q 最後に地域の皆さんへメッセージをお願いします。

A 20人が参加して、余ったセルリーを提供し「ゼロリポタージュ」を専門家に作ってもらい、農協祭などや県外で販売しています。セルリーの消費拡大に少しでも役立てばと思っています。



セルリーハウス

3 農地利用最適化推進委員の新設

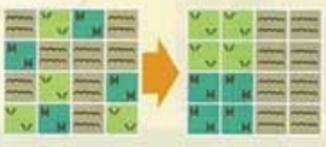
農地等の利用の最適化推進のため、担当地区において現場活動を行う「農地利用最適化推進委員」を新たに農業委員会が委嘱することとなりました。

- 農地利用最適化推進委員の委嘱にあたり、推薦と公募が実施されます。農業委員と同じく、候補者の推薦を求めるとともに、農地利用最適化推進委員になろうとする者を公募します

現在農業委員会では、新制度への移行に向けて、法律や政省令に基づき、条例改正等の手続きをすすめています。

1 農業経営の規模の拡大、耕作の事業に供される農地等の集団化

→ 担い手への農地利用の集積の推進



2 農地等として利用すべき土地の農業上の利用の確保

→ 耕作放棄地の発生防止、解消の推進



3 農業への新たに農業経営を営もうとする者の参入の促進

→ 新規就農、企業等の農業参入の支援



入って安心 **農業者年金** 収入が不安定で将来が心配…そんな方へ

- ◆ [農家であれば誰でも加入できる!](#)
- ◆ [国から保険料補助が受けられる加入区分もあります](#)

これから加入すると将来どのくらいもらえるのか、簡単に試算できます
お近くのJA、もしくは農業委員会事務局までお問い合わせください

全国農業新聞 を購読してみませんか

(月4回金曜日発行 B3版10~14頁建 購読料:月700円 [送料、税込み])

全国農業新聞は経営とくらしに役立つ農業総合専門紙として高い評価を受けています。

・・・お申し込みは農業委員会事務局まで・・・



「農業委員会制度」

「農業委員会等に関する法律」が改正され平成28年4月1日より施行されました。

これにより農業委員会制度が大きく変わり、安曇野市においては、次回の改選時(平成30年7月20日)より新制度に移行します。



主な変更点

1 農業委員会の役割強化

農地等の利用の最適化が農業委員の必須業務として位置づけられました。

(農地等利用の最適化とは
担い手への集積・集約化、耕作放棄地の発生防止・解消、新規参入の促進)

2 農業委員の選出方法の変更

公選制(選挙制)から推薦・公募制に変更されます。
農業委員は市議会の同意を要件とした市長の任命制となりました。

- 農業委員の任命にあたり、推薦・公募が行われます。任命制になったことにより、農業委員の選出方法も変わりました。市長が農業者、農業者が組織する団体、その他関係者に対し、候補者の推薦を求めるとともに、農業委員になろうとする者を公募します。

農業委員の選出にあたっての留意点

- 農業委員の過半数は原則として認定農業者とすること。
- 利害関係を有しない者が含まれるようにすること。
- 青年・女性を積極的に登用すること。



おふくろの味

今回は果実酒・薬用酒の作り方を紹介します。

果実は新鮮で果肉がしまつて無傷で完熟一步手前のものを用います。薬用酒は専門の書物より身の回りの野にあるものを用います。

酒は三十五度の焼酎を使いますが、ブランド・ウイスキー・シンなども味香りが深まります。

甘味料は氷砂糖を用います。材料によって変わりますが酒一升(1.8ℓ)に対して300g〜200gがよくでしょう。

飲み方はストレートか炭酸飲料を加えると食前酒として喜ばれます。氷を入れてもお湯割りも良く、紅茶・コーヒーに一、二滴も良いです。又、お酒が苦手な方も、牛乳を多くして割ると美味です。

作り方は品物と酒と甘味料を加え三ヶ月から六ヶ月してから濾します。二十年もの、三十年ものになると色も深まり味もまろやかさを増し極上のリラックスタイムに最適です。

穂高 有賀 久美恵 委員



旬の一句・一首

孫笑ひ

ギョロリ目玉の

秋刀魚焼く

豊科 山田 健人さん

稲穂波

取れ高思い

畦を切る

穂高 丸山 茂さん

寄りそいて

互いに励ます

秋の夜半

三郷 丸山 多江 委員

おそ梅雨の

空とは言ふも盆過ぎて

稲穂のかしぐ ここ安曇野は

堀金 青柳 幸秀さん

常念を

詠みたる歌友の里たずね

同じ目線で常念望む

明科 内川 長弥さん

編集後記

今年の流行語に「忖度(そんたく)」が選ばれたか関心を持って見えています。と言うのも私が編集委員になって最初の農業委員会だよりに農業経営に重要な役割を持つと思われる補助金制度を取り上げました。

安曇野市農業の発展の一助になればとの思いからです。

しかし、反響は少なく、残念な結果でした。たしかに法律、運用基準までを正しく理解して活用することは、大変な重労働です。行政側の対応も大切ですが、古希を迎えた私が会社勤めの中でいまだに記憶に残っている上司からの一言「情報は人から与えられると思うな、自分から取りに行け」です。必要な情報は自分から得る姿勢の大切さを知りました。23号で掲載しました農業委員、農地利用最適化推進委員の定数及び地区割り、女性農業委員の登用等の案作りを現在農業委員会で進めています。

農業者の高齢化、後継者がいないため耕作放棄地の増大、鳥獣被害の拡大、これらの諸問題解決への農業委員、農地利用最適化推進委員への役割、期待は大きくスムーズな移行が図れるように検討しています。

編集委員 三郷 中野 亨 委員

お詫びと訂正

農業委員会だより23号2ページの記事で「会長 池上洋介」氏の名前に誤りがございました。正しくは「会長 池上洋助」です。

訂正し、お詫び申し上げます。 編集委員